

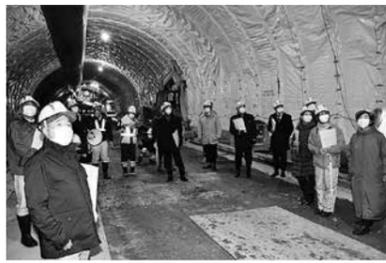
行政報告



▲総合教育会議で事業状況と教育施策の意見交換



▲「消防フェア」で住宅用火災警報器等の啓発



▲日沿道建設促進期同盟会による現地視察



▲復調傾向にある森吉山の「阿仁ゴンドラ」

産業部

■農林課関係

今年の水稲は、作況指数が103の「やや良」となりました。野菜は、昨年に比べ天候に恵まれたため販売量は例年並みとなったものの、単価が低く販売額は例年をやや下回りました。花きは、昨年同様コロナ禍でのイベント中止等により販売量・販売額ともに減少しました。

今年度の経営所得安定対策は、291件の加入・交付申請があり、「水田活用の直接支払交付金」は戦略作物助成、産地交付金および水田農業高収益化推進助成を合わせて7億7千万円、「畑作物の直接支払交付金」は1億4千万円、「新市場開拓に向けた水田リノベーション事業」は1億円で、総額10億円規模の交付となる見込みです。林道の工事は、2路線3カ所を新たに発注しました。維持管理は、3路線3カ所が完了し、車両等の通行を確保しています。

鳥獣被害対策は、11月末で、クマの捕獲頭数は39頭増の84頭となっています。造林事業は、再造林事業1件、間

伐事業1件を委託しています。

■商工観光課関係

商工振興は、10月8日に「市と商工会の意見交換会」を開催し、コロナ禍における事業者支援施策や地域産業振興施策の意見交換を行いました。

企業誘致関係は、11月12日に「北秋田市誘致企業懇談会」を開催しました。

10月の森吉山阿仁ゴンドラの利用客数は1万212人(昨年9311人)となり、復調傾向にあります。また、太湖遊覧船の利用客数は1404人(昨年1277人)となり、11月3日で今年度の営業を終了しています。

「くまくま園」は、11月3日に今年度の営業を終了しています。来園者は1万2967人(昨年2万1763人)となり、特に夏休み期間中の新型コロナウイルス感染症の拡大が大きく影響したものと考えています。

■新型コロナウイルス感染症緊急経済対策室関係

市独自の緊急経済対策として、「スーパードレミアム付応援チケット」事業を実施しています。

レミアム率を昨年と同様に50%とし、1セット5000円で7500円分のチケットを1世帯4セットまで購入できるものとしました。

11月15日から始まった「おもてなし宿泊支援事業」は、13の宿泊施設に参加いただき、令和4年3月20日までの期間での実施を予定しています。

建設部

■都市計画課関係

11月10日、第1回北秋田市景観審議会が開催され、景観計画について審議を行いました。

11月26日、北秋田市日沿道建設促進期同盟会会員による今泉第1トンネル等の現地視察を行いました。

南鷹巣団地建替事業は、建築本體工事(2棟4戸)および外構工事が完成し、供用を開始しています。また、解体工事(2棟8戸)に係る工事請負契約を締結し、工事を進めています。

公共下水道事業は、鷹巣処理区で舗装復旧工事1件、米内沢処理区で舗装復旧工事1件と施設統廃合整備工事1件が完成しています。

また、合川地区不明水調査業務委託1件が完了しています。

■建設課関係

令和3年8月1日から10月31日までの工事等発注状況は、道路等維持工事3件、道路改良工事1件、道路メンテナンス事業5件となっています。また、工事等完成状況は、道路等維持工事2件、道路改良工事4件、防災・安全交付金事業1件、道路メンテナンス事業2件となっています。

期成同盟会関係は、「盛岡秋田道路・大曲鷹巣道路整備促進フォーラム」が11月22日に仙北市で開催され、沿線の各関係団体はじめ地域住民が一体となって整備促進に向け取り組むことが確認されました。

市道管理は、大印ノロ川線、ブナ森線を11月12日から令和4年5月20日までと、滝ノ沢薬師下線を12月1日から令和4年4月10日までを冬期間通行止めとしています。

水道局

■水道課関係

建設改良事業は、綴子地区配水管移設補償工事を発注し、阿仁合

地区配水管布設工事ほか3件は完了しています。

施設維持管理業務は、和歌山市で発生した水管橋崩落事故を受け、市内主要水管橋等の点検作業を実施しました。

消防本部

■常備消防関係

8月から10月までの火災発生状況および消防活動は、建物火災が2件発生し、人的被害は死者1名となっています。救急出場は481件で、種別では急病が最も多く329件となっています。

11月7日から13日まで秋の火災予防運動が実施され、初日は市内4地区で防災訓練等が行われ、多数の市民参加のもと初期消火や応急救護、避難誘導時の手順の確認や防災講話などにより防火意識の高揚を図っています。また、11月14日にケーズデンキ駐車場で消防フェアを開催し、住宅用火災警報器の設置・維持に関する啓発や煙体験ハウスを使用した火災時の疑似体験と避難の仕方に、多数の来

場者に参加いただいています。訓練は、10月5日に脇神字高村

岱の建設課作業場で、機能別消防団重機部隊との土砂災害連携訓練を行いました。

9月12日に浦田地区AED救命ステーションが開所しました。旧合川東小学校校舎解体工事に伴う体育館改修工事は、11月12日に終了しました。

■非常備消防関係

消防団車両は、消防ポンプ自動車1台を更新し、10月から第9分団(米内沢)に配備しました。

秋の火災予防運動は、初日の11月7日に消防団員の教育研修会を森吉構造改善センターで開催し、ポンプ操法やロープ結索などの実践訓練や安全運転講習を行いました。

消防団第5分団(松沢)の器具置場新築工事は、11月8日に完成しました。

11月10日に消防団活動への理解と地域防災体制のよりよい体制作り貢献しているとして、社会福祉法人秋田県民生協会(合川)へ消防団協力事業所表示証を交付しています。

教育委員会

■総務課関係

令和3年度第2回総合教育会議を10月28日に開催し、今年度の事業執行状況や教育施策の意見交換を行いました。

■学校教育課関係

10月16日、鷹巣中学校を会場に北秋田市・上小阿仁村小・中学校理科・社会科研究発表会を実施し、児童74名が65題の発表を行いました。また、秋田大学の協力で「おもしろ理科実験教室」を開催しました。

10月30日、31日に開催された第70回秋田県発明展で、本市から児童生徒の部に出品した1名が秋田県知事賞を受賞し、1名が齋藤憲三・山崎貞一奨励賞を受賞しました。その2名の作品は第80回全日本小学生発明展「ふう展」に応募されることとなりました。

■生涯学習課関係

9月17日に「伊勢堂岩山縄文館」では、開館からの入館者が5万人に達し、5万人目の方に記念品を贈呈しました。

市文化祭は中止としましたが、展示部門の代替行事として、10月23日から「みんなの作品展」を市民

ふれあいプラザ、森吉公民館および阿仁公民館で開催しています。

10月25日、秋田県主催による第1回秋田県縄文遺跡群保存活用連絡会議北秋田会議が市民ふれあいプラザで開催され、県・本市の関係各課や民間からの委員が参加し、伊勢堂遺跡に関する取り組みなどの情報を共有しました。

10月29日、花いっぱい運動推進協議会の「令和3年度北秋田市花だんコンクール表彰式」が市民ふれあいプラザで行われ、市長賞、市議会議長賞、教育長賞など14団体、2個人が表彰されました。

11月6日、縄文シティサミットinあおもりが開催され、加盟する自治体の首長などがそれぞれの遺跡を紹介するとともに、北海道・北東北の縄文遺跡群の世界文化遺産登録による波及効果などの意見交換が行われました。

■スポーツ振興課関係

「第16回北秋田市スポーツレクリエーション大会」が、10月2日の北秋田学童野球ジュニアオールスターを皮切りに、令和4年2月5日までの期間で12競技の熱戦が繰り広げられています。